

分野	8	教育
----	---	----

1 ICT学習環境の整備

【現状、課題と取組の方向性】

幼児期から日常的にスマートフォン等に触れることも普通になり、急速な情報化の進展は子どもたちの生活スタイルにも大きな影響を与えています。青少年のインターネット利用と依存傾向に関する調査（平成25年総務省）によれば、スマートフォンの所有率は、小中学生でも2割前後、高校生では半数を超え、急速に普及していることがうかがえます。利用方法としては、メールが約4割と通話を上回り圧倒的に高く、LINEによる交流も2割弱を占めています。このような子供たちの「ネット社会」を背景として、「学校裏サイト」やSNSを使った「ネットいじめ」の深刻化、未成年者の出会い系サイト利用による被害、心身の健康を損なう程の「ゲーム中毒」や「ネット依存」といった問題も顕在化しているところです。

一方で、最新の知識を得たり、多種多様なコンテンツの利用によって、学生たちがインターネットによる情報発信で自主活動の幅を広げたり、独自のアプリケーションを開発する事例もあり、子供たちにも自ら考えて主体的に行動できる力が重要となっています。

また、学校現場においては情報化への対応が強く求められており、子供たちがコンピュータを利用して学習することは日常的になり、画像や動画などを映し出せる電子黒板、生徒がタブレット端末を利用する取組も普及しつつあります。

本県教育委員会では、警察と連携した児童生徒に対する情報モラル啓発のほか、学校裏サイトの監視などのネット被害未然防止の対策を進めてきました。学校の情報化については、平成22年3月に策定した「教育振興基本計画」を踏まえながら、教育の情報化施策の総合的・体系的な推進を図るため、平成25年3月に「みやぎの教育情報化推進計画」を策定し、学校教育における「教育の情報化」の計画的・組織的な一層の推進とその環境整備に取り組んでいます。「みやぎIT教育ポータルサイト」の運用により、教育情報の共有や学力向上のためのコンテンツの充実、教員一人一人のICT活用指導力の向上等を図ってきたのに加え、県内の県立学校・市町村立学校のネットワークである「宮城県学習情報ネットワーク（みやぎSWAN）」を運用する等の基盤整備を推進してきました。

しかしながら、震災によって、沿岸部の学校では津波により各種データが消失し、学校再開後の校務運営に支障が生じたことから、学校外にもデータの保管場所を設けるなど災害に強い情報管理が求められています。また、震災後、学校において様々な業務が増加している中、心のケアをはじめ児童生徒と向き合うための時間確保に向けた事務の効率化も求められています。このため、新たな教育関係事務システムの構築を進めることにより事務の効率化を図ります。また、児童生徒の心の状態や学力の状況を把握・分析できるシステムも活用していきます。

さらに、近年の知識基盤社会の中、個人が生涯にわたって学習できる環境を作ることに取り組んでいます。

分野	8	教育	項目	1	ICT学習環境の整備
----	---	----	----	---	------------

1 「みやぎの教育情報化推進計画」の推進

目的・概要

性質・手法

その他

「知識基盤社会において学び続けるみやぎの児童生徒の育成」に向けて，児童生徒の情報活用能力の育成，わかる授業の実現，教育活動の質的改善，特別支援教育の充実の4点を掲げ，達成のための具体的取組として，情報教育の充実，教員のICT活用指導力の向上，校務の情報化，特別支援教育での活用を図り，ICT環境整備を推進していきます。

重点目標

安全・安心な暮らし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

主体

県，県教育情報化推進会議

関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/site/sub-mict-ed-kaigi/>

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	実施	計画策定	実施
継続	→		

指標

授業中にICTを活用して指導する能力を有する教員の割合

現状値(25年3月1日)	61.8%	目標値(28年度末)	100%
--------------	-------	------------	------

担当

教育庁 教育企画室

参考

みやぎの教育情報化推進計画，宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

2 宮城県教育情報システム（SWANⅡ）の運用

目的・概要

性質・手法

システム

県内すべての県立学校の生徒及び教員がコンピュータやインターネットを授業や教育活動に活用し，情報活用能力を高めるとともに，情報モラルを身に着け，適切な情報教育を推進するために教育用コンテンツを活用できる環境を実現します。

重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

主体

県

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	運用		
継続	→		

担当

教育庁 教育企画室

分野	8	教育	項目	1	ICT学習環境の整備
----	---	----	----	---	------------

3 総合教育センターの情報教育研修の充実

目的・概要

性質・手法

その他

教職員の情報活用能力向上のための研修を実施しています。児童生徒の情報活用能力育成の充実を図るため、教職員のスキルアップのための研修や先進的な指導事例の提供等を通して、情報教育の実践的な指導力を高めます。効果的なICT活用を通して、各教科等の学習目標を達成し、児童生徒の一層の学力向上に向けた研修を実施します。

重点目標

安全・安心な暮らし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

主体

県

関連URL

<http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/>

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	実施		
継続	→		

指標

授業中にICTを活用して指導する能力（「教育の情報化の実態等に関する調査」の「教員のICT活用指導力」の大項目B）を有する教員の割合

現状値(25年3月末)	61.80%	目標値(28年度末)	100%
-------------	--------	------------	------

担当

教育庁 教職員課

参考

宮城県教員研修マスタープラン、みやぎの教育情報化推進計画

4 宮城県公立学校運営支援統合システム等の整備

目的・概要

性質・手法

システム

教員の多忙化解消を目的とした校務処理効率化を図ることによる、児童・生徒と向き合う時間の確保や、震災を教訓とした生徒データの確実な保存などの課題に対応するべく、県立学校の事務処理の統合情報化を推進するとともに、事務事業を見直します。主に成績処理を行う「教務支援システム」とサービス管理や学納金管理を行う「校務支援システム」からなる、災害に強いシステムを構築します。

重点目標

安全・安心な暮らし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

主体

県

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	整備		運用
継続	→		

担当

教育庁 教育企画室

分野	8	教育	項目	1	ICT学習環境の整備
----	---	----	----	---	------------

5	みやぎ学力調査分析システムの整備				
目的・概要		性質・手法		システム	
<p>県内公立高校の生徒を対象としたみやぎ学力調査のデータを各校からウェブ上にアップすることで、学力状況調査及び意識調査の様々な角度からの分析が可能なシステムを導入しています。</p>					
重点目標		安全・安心なくらし	快適・便利なくらし	活力ある豊かな地域	
		情報活用力の向上	行政運営の最適化		
主体		県，慶應義塾大学SFC研究所			
関連URL		http://www.pref.miyagi.jp/site/sub-ijyou/kyo-gakuryoku-tyousa.html			
スケジュール		H26	H27	H28	
～H25		運用			
継続		→			
指標		システムの利活用校の割合			
		現状値(25年3月末)	100%	目標値(28年度末)	100%
担当		教育庁 高校教育課			
参考		みやぎの教育情報化推進計画，宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画			

6	ネット被害未然防止対策の推進				
目的・概要		性質・手法		その他	
<p>生徒を対象とした講演会や教員を対象としたネットパトロールスキルアップ研修会の開催により，携帯電話やインターネット等の利用における情報モラルを浸透させるとともに，新たないじめ問題の温床となっている学校裏サイトの検索・監視を実施し，児童生徒のネット被害を未然に防止します。</p>					
重点目標		安全・安心なくらし	快適・便利なくらし	活力ある豊かな地域	
		情報活用力の向上	行政運営の最適化		
主体		県			
関連URL					
スケジュール		H26	H27	H28	
～H25		実施			
継続		→			
指標		学校裏サイト監視投稿件数に対する問題投稿件数の割合			
		現状値(25年度末)	0.7%	目標値(28年度末)	3.0%以下
担当		教育庁 高校教育課			
参考		宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画			

分野	8	教育	項目	1	ICT学習環境の整備
7	みやぎ県民大学（生涯学習講座）の実施				
目的・概要		性質・手法		その他	
<p>県内の大学・高等学校・社会教育施設や市町村・民間団体等と連携しながら、学習講座を開設することにより、多様な学習サービスを県民に提供しています。IT関係講座についても、地域住民のニーズを的確に把握しつつ、パソコンの知識や運用等に関する学習機会を提供し、地域復興の一助となるよう努めていきます。</p>					
重点目標		安全・安心な暮らし	快適・便利な暮らし	活力ある豊かな地域	
		情報活用力の向上	行政運営の最適化		
主体		県			
関連URL		http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syougaku/kenminindex.html			
スケジュール		H 2 6	H 2 7	H 2 8	
～H 2 5		実施			
継続		→			
担当		教育庁 生涯学習課			

分野

8

教育

情報発信サイト等

東日本大震災に係る教育関連記録集**ウェブ**

教育委員会，文教施設における震災直後からの対応記録や児童生徒の活動事例等を発信しています。

URL<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kvou-soumu/top2.html>**担当**

教育庁 総務課

**生涯学習関係情報の提供****ウェブ**

団体，グループ，講師，指導者などの関連情報を提供し，県民の自発的な学習活動を促します。

URL<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syougaku/gakusyuyihohindex.html>**担当**

教育庁 生涯学習課

**美術館情報の発信****ウェブ**

常設展，特別展等のほか特別行事や所蔵作品の特徴，館内の様子など美術館に関する情報を適時・的確に提供し，県民による活用や事業の活性化を図ります。

URL<http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>**担当**

教育庁 生涯学習課

**みやぎ広域スポーツセンター****ウェブ**

各種スポーツ情報の共有化と県民相互の連携を図り，スポーツに親しむための環境をつくれます。

URL<http://www.miyagi-sc.jp/>**担当**

教育庁 スポーツ健康課



分野	8	教育
----	---	----

2 地域の歴史・文化の伝承

【現状、課題と取組の方向性】

本県では、図書館や東北歴史博物館における貴重な収蔵資料のデジタルアーカイブ*化やデータベース化を進め、デジタルデータを活用した情報開示・提供を進めるとともに、生涯学習やスポーツ関連情報など、県民の豊かな活動を支援するため、積極的な情報提供に努めてきました。図書館では、インターネット上での貸出予約サービスの実施や市町村図書館との連携による「図書館の県内総合目録化」を推進し、県民へサービスの向上を図ってきました。

「千年に一度」とも言われ、多くの人々の予想をはるかに超える津波に襲われた時、地域住民に脈々と言い伝えられてきた災害に対する知恵が、一瞬の判断と迅速な避難につながり生命を守ることができた地区の事例も聞かれました。震災から3年を経過した現在、復旧・復興が進むにつれ、津波の猛威を生々しく物語る建造物の多くは姿を消しつつありますが、民間による発災直後の爪痕をインターネットで閲覧できる取組や被災住民の証言とともに収集・保存する取組等が続いています。

本県でも、震災に関する記録や被災地の地域資料について、関係市町村と連携し、デジタル保存技術によりデータ化して提供することにより震災のもたらした甚大な被害が、将来、全国の他の地域又は被災地の次世代の住民が災害に直面した場合の教訓となるよう、地域情報の活用を支援する取組を推進しています。歴史的な大災害が残した痕跡を教訓として県内外に発信し、次世代にも伝えることで、防災意識の風化を防ぎ、被害を最小限に食い止めることができるよう、災害に関する記録を効果的に収集・管理・提供する仕組みを構築します。

分野	8	教育	項目	2	地域の歴史・文化の伝承
----	---	----	----	---	-------------

1 被災地域記録デジタル化の推進

目的・概要

性質・手法 システム 情報発信

震災に関連する記録・記憶・資料等（以下「震災関連資料」といいます。）を収集・保存・公開し、震災の記憶の風化防止や、今後の防災・減災対策への利活用等に役立てるため、震災関連資料をデジタル化し、広く公開するためのシステムを構築します。

重点目標

安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域
 情報活用力の向上 行政運営の最適化

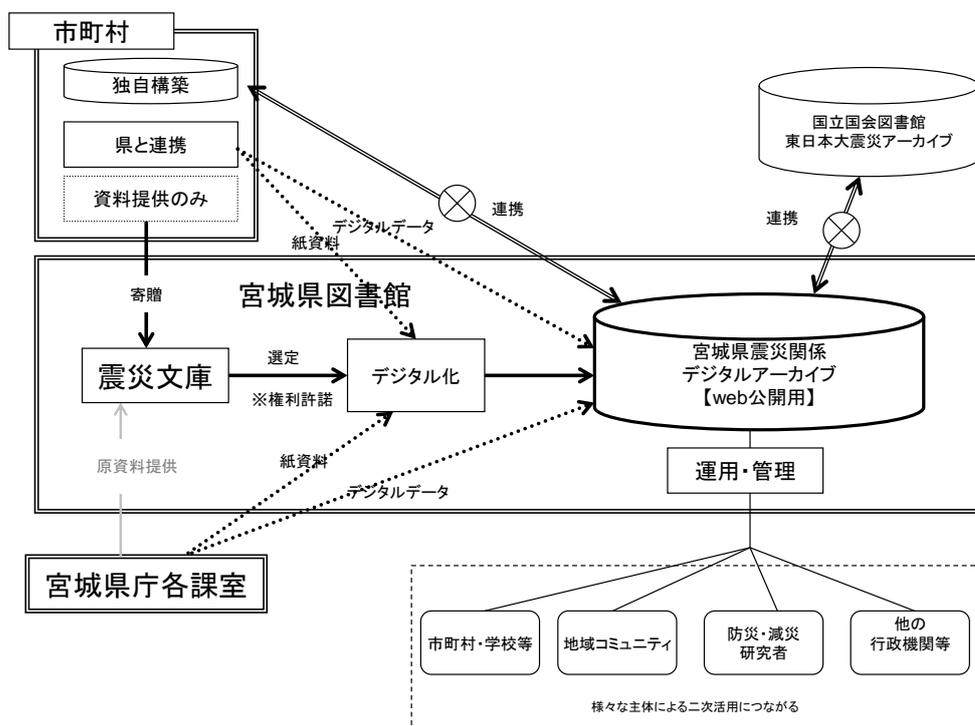
主体 県

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	システム構築・運用		
継続	→		

担当 教育庁 生涯学習課

被災地域記録デジタル化推進事業イメージ図



分野 8 教育 項目 2 地域の歴史・文化の伝承

2 図書館情報のネットワーク化の推進

目的・概要

性質・手法

システム

情報発信

平成14年に県図書館が運用を開始した「宮城県内図書館総合目録システム」に、市町村図書館がインターネットで公開する蔵書目録システムを接続するよう促し、県民が県内公立図書館の蔵書状況を一括して検索できるようにするとともに、「叡智の森Web」において県図書館で作成した記事索引などの公開も随時行い、図書館利用における県民へのより一層のサービス向上を図ります。

重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

主体

県

関連URL

<http://www.library.pref.miyagi.jp/>

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	運用・拡充		
継続	→		

担当

教育庁 生涯学習課

参考

宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

3 東北歴史博物館館蔵資料管理及び情報公開事業

目的・概要

性質・手法

システム

情報発信

東北歴史博物館に収蔵している約10万点を超える資料をデータベース化し、管理を容易にするとともに、常時展示できる資料に限られていることから、ウェブ上での資料閲覧を可能にし、展示を補います。また、館蔵資料及び研究成果や開催イベント等の情報についても、広く県民に提供します。

重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

主体

県

関連URL

http://www.thm.pref.miyagi.jp/enter_top.html

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	運用		
継続	→		

指標

館蔵資料ウェブ公開資料点数

現状値(25年7月末)	館蔵資料 ダigest 556点	目標値(28年度末)	全館蔵資料 目録の公開

担当

教育庁 文化財保護課